

学校評価／自己評価

当校では、年度目標や取り組み等の達成状況を評価し、その結果をもとに学校運営の改善を図るとともに、教育水準の向上を図ること等を目的として、各年度末に教職員による学校評価（自己評価）を行っています。

I 自己評価

(1) 評価内容と項目

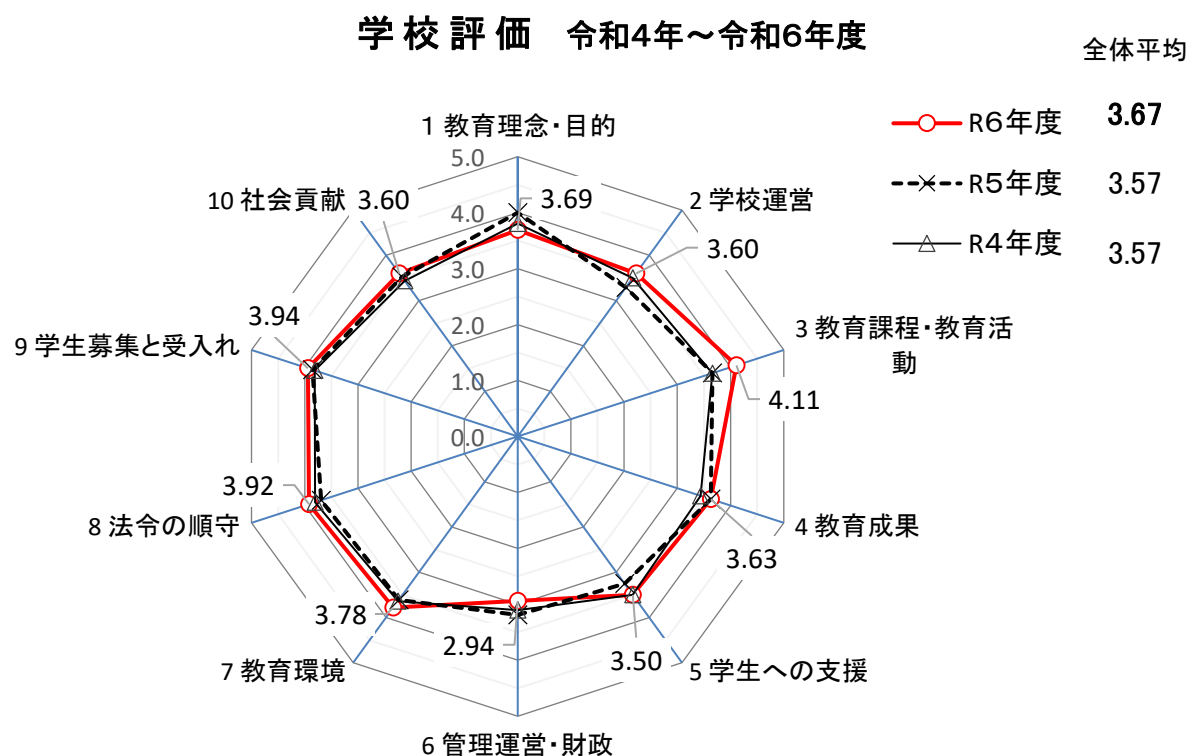
評価項目	細目内容	
1. 教育理念・目的 (3項目)	①年度目標の策定 ③学校独自の特徴	②教育理念・目的・育成人材像
2. 学校運営 (7項目)	①学校運営方針 ③運営組織や意思決定機能 ⑤業務の効率化 ⑦意思決定システム	②年間の事業計画 ④人事や賃金での処遇に関する制度 ⑥教育会議の機能
3. 教育課程・教育活動 (10項目)	①カリキュラムの編成 ③修了認定のための評価基準 ⑤インシデント・アクシデントの分析 ⑦学生による授業評価 ⑨資格取得の指導体制	②実習目標に沿った病棟の選択 ④実習における患者への倫理的配慮 ⑥実習指導者と教員の役割と協力 ⑧成績評価・単位認定基準実 ⑩職場内研修
4. 教育成果 (4項目)	①就職率の向上 ③退学率の低減	②資格修得率の向上 ④卒業生・在校生の活躍及び評価
5. 学生への支援 (5項目)	①学生の心身面での健康管理 ③課外活動に対する支援体制 ⑤学生の経済的側面に対する支援	②学生生活、進学、就職に関する相談 ④保護者との連携
6. 管理運営・財政 (4項目)	①予算計画、年間事業計画 ③中長期的な学校の財務基盤の安定	②災害など非常時の危機管理体制 ④財務の会計監査の実施
7. 教育環境 (3項目)	①校舎の耐震性・バリアフリーの整備 ③学生のためのスペース	②施設・設備・教材などの整備と活用
8. 法令の順守 (3項目)	①法令、設置基準等の遵守 ③自己点検・自己評価の実施と問題点の改善	②個人情報の保護
9. 学生募集と受入れ (4項目)	①学生募集の適正化 ③入学選考基準の公平化	②学校評価の公表 ④学納金の妥当性
10. 社会貢献 (4項目)	①地域社会への貢献 ③学生のボランティア活動	②地域との協力関係 ④社会貢献の実施

(2) 評価尺度（5段階ポイント）

5；良い， 4；やや良い， 3；普通， 2；やや不十分， 1；不十分

(3) 令和5年度 評価結果 (令和3年度、4年度との比較)

前述10項目47細目について評価を行い、結果を集計後、各項目の平均ポイント値として整理した



IV 今後の課題

・令和6年度自己評価全10項目の平均評価ポイントは、3.67ポイントで前年に対し+0.1ポイント上昇した。今年度は、副校長および教員4名が入れ替わり、新たな教員体制でスタートし、看護師養成所2年課程として、1,2年生は新カリキュラム、3年生は旧カリキュラムに沿って所定の課程を修了した。看護師国家試験合格率(新卒)は、92.3%と昨年度(90.5%)を上回ったが、全国新卒平均95.9%を下回り、残念な結果となった。

・評価項目では、「3. 教育課程・教育活動」が最も高く4.11ポイントであった。カリキュラム変更の過渡期中、混乱なく修了したことに加え、退学者が無かったことなどが評価された。

・一方、前年に続いて「6. 管理運営・財政」が最も低く、2.94ポイントで前年3.19に対し△0.25ポイント低下した。これは、学生数の大幅定員割れによって収支が悪化しており、改善の兆しが見えないことへの危機感が現れていると考えられる。今年度、募集活動として、これまでの活動に加えて、TickTok広告や入試回数の増加、AO入試導入を実施したが、学生数増には結びつかなかった。令和7年度の重点課題として、学生募集及び入学試験について、新たな対策を試行・導入し学生数の確保に努める。

・前年に比べ評価が低下した項目は、前述の6項と「1. 教育理念・目的」の2項目となった。この教育理念・目的については、教員新体制による評価差が影響していると思われる。

・次年度、全学年新カリキュラム化により業務の効率化に着手し、学内の情報共有、コミュニケーションを活性化し、教職員・学生が一体感を持って次年度への課題として改善に努める。

また、学生の看護師への育成、地域活動への協力等を通じて、当校の高評価ポイントについては、より一層のポイントアップにつながるよう活動していく。